

# 各務原の主な空襲

1144-334  
114566724

各務原市立中央図書館

昭和20年(1945)

表 5-6 各務原の主な空襲

? \*は米第20航空軍「日本本土爆撃概報」による数字  
( )は、日本軍発表

4月12日	B29 1機	蘇原町持田を爆撃 (死者6名) 被害家屋10戸 (県厚生課調べ)
6月9日	P51 8機	飛行場、航空廠、周辺地域を銃撃
6月22日	B29 *44機 (70機)	那加駅周辺、飛行場、川崎航空機工場を中心とする工場群、鶴沼町川崎・三ツ池、各務原駅前を爆撃 死者169名以上 (県厚生課調べでは127名)、被害家屋605戸 (県厚生課調べ)
6月26日	B29 *101機 (90機)	飛行場、航空廠、川崎航空機工場を中心とする工場群、鶴沼町川崎・三ツ池・山崎を爆撃 死者58名 (県厚生課調べでは43名)、被害家屋285戸 (県厚生課調べ)
7月12日 ~13日	B29 47機	蘇原町伊吹・寺島・古市場・申子・熊田・持田・東島、須衛、各務原駅前、更木村三井・小佐野、中屋村成済に焼夷弾を投下 被害家屋 約16戸
7月15日	P51 100機	各務原全域を銃撃
7月17日	P51 100機	飛行場、工場群とその周辺地域を銃撃
7月19日	P51 60機 グラマン	飛行場、工場群を銃撃
7月20日	P51 100機	飛行場、工場群とその周辺地域を銃撃
7月24日	戦爆連合	飛行場、工場群、交通機関とその周辺地域を銃撃
7月28日	グラマン 120機	飛行場、工場群、交通機関とその周辺地域を銃撃
7月30日	P51、グラマン	飛行場、工場群とその周辺地域、鶴沼国民学校を銃撃
8月2日	P51 50機 グラマン数十機	飛行場、工場群とその周辺地域を銃撃

「街も村も「戦場」だった」に掲載の「岐阜県下空襲一覧表」をもとに、証言・日記などから加除修正して作成

「各務原市民の戦時記録」各務原市戦時記録編集委員会 編より





川崎、事務所

## 空襲による被害

<フリー百科事典 Wikipedia による>

	死者	負傷者	家屋の被害	被災を受けた人
各務原	227人以上	—	916戸	—
岐阜市	約800人～ 900人	約1,200人	約2万戸 (全市の50%)	約10万人 (全市の60%)
全国 200以上の都市	約33万人	約43万人	約223万戸 (全国の約20%)	約970万人

## 太平洋戦争による犠牲者<sup>ぎせいしゃ</sup> (亡くなった人)

<フリー百科事典 Wikipedia による>

国	軍隊の人	民間(軍隊以外)
日本	約174万人	約39万人
アメリカ	約35万人(太平洋のみ)	
中国	約150万人	約1,700万人

☆ 中国は重慶政府発表による